

平成28年度 赤ちゃん先生を活用した「次代の親の子育て模擬体験・ライフデザイン支援事業」概要

1回目の実施内容(50分)	期待できる効果
<p>育児体験(赤ちゃんとのふれあい)</p> <p>おむつ替え、着替え、ミルク・離乳食・おやつ与え</p> <p>おんぶ・抱っこ・散歩・絵本の読み聞かせなど(月齢により異なる)</p> <p>外出時、荷物が多い、ベビーカーで段差のあるところをわたる、赤ちゃんが泣くなど大変なときに声をかけてもらったり、ちょっと手助けしてもらえるととても嬉しい、夫婦で協力して子育てすることが大切・・・といったお母さんの話</p>	<p>赤ちゃんへの愛着形成(温かみや危うさも実感)</p> <p>子育ての大変さを知る</p> <p>育ててくれた親への感謝の気持ちをもつ</p> <p>ユニバーサル社会について考える(子育て中の親子など困っている人たちに自分ができることを考える)・男女共同参画の視点をもつ</p>

2回目の実施内容(50分)	期待できる効果
<p>同じ親子との再会(赤ちゃんとのふれあい)</p> <p>月齢が上がることでお世話の内容も変わる</p> <p>妊娠・出産時の話 (★は全員に話を、他は各グループで話をする)</p> <p>★受精の話(1/3億の命)</p> <p>妊娠時のエコーの写真、出産の話、新生児の大きさや一日の過ごし方の話など</p> <p>妊娠・出産すると子育て親子は社会的弱者になる</p> <p>子どもはほしいと思ってすぐに出来るものではない、流産することもある</p> <p>望まない妊娠もつらい(学業をあきらめたり・経済的に育てられなかった)</p> <p>妊娠しやすい時期がある</p> <p>若齢出産も高齢出産も母体と赤ちゃんにリスクがある</p> <p>★命の奇跡、自分も生まれて育ててもらった</p>	<p>赤ちゃんの成長を実感する</p> <p>子育ては同じことの繰り返しではないことに気づく</p> <p>子どもの成長が親の喜びであることに気づく</p> <p>命の大切さを知る</p> <p>自己肯定感をもつ</p> <p>妊娠・出産の大変さを知る</p> <p>ユニバーサル社会について考える (妊婦・子育て中の親子など困っている人たちに自分ができることを考える)</p> <p>妊娠・出産についての知識を得る</p> <p>育ててくれた親への感謝の気持ちをもつ</p> <p>自分がいずれ親になったら・・・といったライフデザインをぼんやりとでも思い描く機会をもつ</p>

⇒子どもはかわいい⇒いずれは子どもをもちたい(若すぎるので、しばらくはリスクがある)⇒育てるには経済力が必要
 ⇒今は妊婦や子育て中の親子を見かけたら手助けして、学生生活をがんばる
 こんな子どもたちが増えると嬉しい!!!